

平成24年度事務事業評価シート（23年度実施事業分）

事業番号	08 05 06	中期総合計画主要施策番号	1-08,2-03,5-06	担当課	部・課	農政部 農地整備課
事業名	中山間総合整備事業（公共【農村整備】）				内線	3149
					E-mail	nochi@pref.nagano.lg.jp
実施期間	H2 ~	根拠法令等	土地改良法、地域自主戦略交付金交付要綱			
実施方法	県が直接実施、市町村へ補助金を交付し実施					国庫・県単 補助公共

事業の概要等	目的 (必要性)	中山間地域における様々な不利な条件を改善するために、農村の活性化に意欲ある地域を対象として、農業生産基盤と農村の生活環境を総合的に整備し、地域の活性化と定住の促進を図るとともに、国土・環境の保全に資する。				
	対 象	中山間地域の農地・農業用施設及び集落				
	目指すべき姿	・中山間地域における農道等の整備を進め、活力ある住みよい農村の実現を図る。 ・山腹に位置する農業用排水路の整備により、中山間地域に点在する棚田等が持つ国土保全機能の維持を図る。 「第6次長野県土地改良長期計画」における期間内整備目標 ・中山間地域での農道等の整備延長 120km(H20～H24) ・山腹水路等の改修箇所数 200箇所(H20～H24)				
	事業内容	・農業生産基盤(用排水路、農道等)の更新整備 ・農村生活環境(集落道、集落排水施設等)の更新整備 (補助率) 中山間総合整備事業 (県営 【国】55%、【県】30%、【市町村等】15%、団体営【国】55%、【県】1%、【市町村等】44%)				

事業コスト	区 分		単位	22年度	23年度	24年度(当初)	23年度事業費の主な内訳 (H24への繰越額: 467,111千円)
	最終予算額 (A)		千円	2,125,978	1,112,660	588,250	
	決 算 額 (B)		千円	1,691,734	645,547		
	B(H24はA)のうち一般財源		千円	414,952	219,329	196,250	
	概 算 人件費	従事する職員数	人	19.80	12.40	9.00	
	概算事業費 (B(H24はA) + C)		千円	1,691,734	645,547	588,250	

事業実績	成果指標・活動指標内容	単位	22年度	23年度	24年度(見込)	左記以外のH23年度実績 H23完了地区: 7地区 (効率指標 算定式) 概算事業費/実施地区数
	実施地区数(活)	地区	27	11	5	
	中山間地域での農道の整備延長(累計)(活)	km	68	93	120	
	山腹水路等の改修箇所数(累計)(活)	箇所	110	145	200	
	<効率指標(単位当たりコスト等)> 1地区当たり事業費	千円/地区	62,657	58,686	117,650	

事業の成果	事業の目標(H23)	事業成果・評価		評価区分
	「第6次長野県土地改良長期計画」における期間内整備目標 ・中山間地域での農道の整備延長(累計): 96km ・山腹水路等の改修箇所数(累計): 160箇所	・中山間地域での農道の整備延長(累計): 93km ・山腹水路等の改修箇所数(累計): 145箇所 以上から、「概ね期待どおり」であった。		b 期待どおり

事業の課題	区 分	判 定 ・ 説 明			
	事業ニーズの変化	増加	横ばい	減少	判定の説明 ・土地改良法に基づき、県が主体となっている事業と事業費の一部を県が補助している事業がある。 ・事業内容は、農業農村の多面的な機能を確保することを目的としており、事業効果は地域住民等にも広く及んでいる。 ・事業執行にあたっては、コスト縮減を図りながら事業内容の精査に取り組んでいる。
	県の関与を見直す余地	余地なし	当面余地なし	余地あり	
	事業改善(有効性・効率性)の余地	余地なし	当面余地なし	余地あり	

総合分析等	総合分析 (今後の課題、取組方針等)	・中山間地域における生産基盤整備や農村生活環境整備は、平地に比べて遅れており、また、高齢化や担い手不足の問題が深刻化してきているため、地域の実情に応じた整備を実施し、地域の活性化を図る必要がある。 ・環境への配慮やコスト縮減に取り組むとともに、優先度を踏まえた整備による事業効果の早期発現を図る必要がある。				
	特記事項					